

小児



コーナー

あじま診療所
看護師
田村 かおり

インフルエンザ について

これからの季節、多くなる子どもの病気のなかでインフルエンザがあります。



インフルエンザとはかかっている人のくしゃみや咳で外へ飛び散ったインフルエンザウイルスを吸い込むことで引き起こされる感染症です。インフルエンザにかかると急な発熱、頭痛、関節痛、倦怠感などの全身症状が強くあらわれ、あわせて鼻水、咳、のどの痛みなどの症状も見られます。乳幼児がかかると気管支炎や肺炎などを併発しやすいため注意が必要です。

予防にはワクチンが有効です。ワクチンの接種で感染しにくくなるとともに、かかったとしても軽い症状ですみます。それに加えて流行期にはなるべく人ごみを避け、帰宅後は必ずうがい、手洗いを忘れずに行うこと、バランスの良い食事と水分摂取、十分な睡眠を心がけて予防しましょう。